

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

第2弾 錦江町版独自支援策

第2弾となる町独自支援策を1日でも早く実施するため、7月29日に議会全員協議会を開催。事業を説明・報告し、専決処分により8事業3,415万円の予算を計上しました。感染防止対策と経済支援策を進めます。

160万円 若者のオンライン意識調査



U・Iターナー者が事業継承に繋がりにくい現状や課題を「見える化」するためオンラインで若者の意識調査を実施。

824万円 茶農家の肥料代を一部助成



1・2番茶の価格が低迷し3番茶も採算割れで刈り捨てている状況にあるため、10aあたり肥料代5,200円を助成する。

498万円 子牛販売価格の一部助成



牛肉消費の落ち込みによる生産者支援として、今年2月から5月に販売した子牛1頭あたり15,000円を助成する。

593万円 オンライン会議システム導入



3密回避のため議会等の映像配信に必要な機材の導入及び、飛沫感染防止対策として会議用のマイクを増設する。

52万円 手洗い評価検査機を導入



小中学校、幼稚園、保育園など全15施設に手洗い評価ができる検査機を導入。手洗いの指導や感染防止を図る。

その他の緊急経済対策（3事業）

新しい生活様式に対応した小学生キャリア教育 ▶ 95万円 / インフルエンザ予防接種助成 ▶ 1,114万円 / 学校環境整備（花苗などの水かけを自動化） ▶ 79万円

社会教育施設の使用ガイドラインを策定 人数制限や健康チェック表の提出

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会教育施設を使用する場合の「使用ガイドライン」を定めました。3密を防ぐための人数利用制限や、健康チェック表の事前提出をお願いします。ガイドラインは町ホームページでも掲載していますので事前にご確認をお願いします。



「使用ガイドライン」→



対象となる施設		人数上限
総合交流センター	大会議室	30人
	中会議室	15人
	体育館	50人
	多目的室	25人
文化センター	会議室	100人
	リハーサル室	25人
	ホール	300人
田代開発センター	体育館	50人
	会議室	10人
神川地区公民館	和室	10人
		25人
総合運動公園	野球場	1,000人
	陸上競技場	1,000人
	多目的運動場	1,000人
	サンドーム	200人
	弓道場	10人
田代中央運動場		1,000人
田代弓道場		10人
田代武道館		25人
各小中学校体育館	錦江中学校	150人
	上記以外	50人
各地区運動場		1,000人
各地区体育館		50人

※会議に使用する場合、人数上限が変わる施設があります

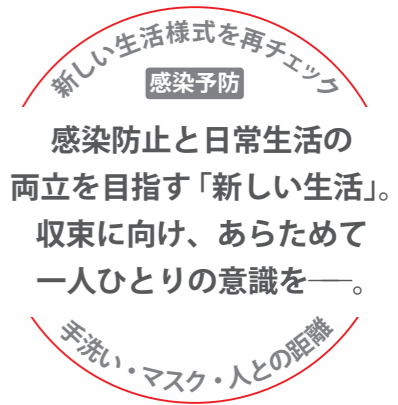
施設内での感染症防止対策（一部抜粋）

- ▶ 過去2週間以内に、家族や知人等で感染が疑われる人がいた場合は使用を控える
- ▶ 過去2週間以内に、体調が悪い方（発熱、嗅覚や味覚の異常、風邪症状などある方）は使用を控える
- ▶ 施設への来館時や館内での休憩時はマスクを着用
- ▶ 施設への来館時は消毒液で手指を消毒する
- ▶ 施設の貸出備品は、個人的に消毒液を持参して消毒清掃して返却する
- ▶ 観客席やベンチ等を使用する場合は間隔を開ける
- ▶ ごみは各自で持ち帰る
- ▶ 人との距離をできる限り2m以上保ち、不要な接触は控える

※上記以外の対策は「使用ガイドライン」でご確認ください

人との距離を保ち「3密」を防ぐ - Social distance -

いまだ収束が見えない新型コロナウイルスの脅威。県内の感染者数は7月末現在で200人を超え、与論町でも集団感染が発生。「来島自粛」を呼びかけるなど緊迫した状況が続いています。出口の見えない状況で長期戦が予想されるなか、感染拡大防止策として国が提言した「新しい生活様式」。町では行事やイベントなどが集まる催しは中止・延期を決定し、社会教育施設は使用ガイドラインを策定するなど「密」による感染防止策を徹底しています。また、感染防止対策と並行して行わなければならないのが経済対策。錦江町独自の支援策を早急に実施するため、7月29日に専決処分分3千4百万円を予算計上し、支援策を進めています。事態の収束には、私たち一人ひとりの予防意識が必要不可欠。あらためて感染予防の徹底をお願いします。



感染防止 3つの基本対策 /

1. 30秒以上の手洗いを徹底
2. 症状がなくてもマスク着用
3. 人との距離は2m以上確保



人との距離はできるだけ2m以上確保してください。会話や食事でも真正面は避け、屋内より屋外での活動を。旅行などの不要な外出は控え、人込みを避けるなど距離を保ちましょう。



人と接触する場合は、症状がなくてもマスクの着用を。飛沫感染を防止するため、密閉や密集を避けて定期的に換気するなど3密を防ぎましょう。マスク着用時は熱中症対策の徹底も。



感染予防の基本として手洗いを徹底しましょう。水と石けんで30秒ほどかけて丁寧に洗うことを心がけてください。帰ったら着替えやシャワーを早めに済ませることをおすすめ。

でも… 夏場のマスクには要注意

この夏、新型コロナによる新しい生活様式で注意したいのが…

「熱中症」

室内や夜間でも、油断できない熱中症。予防の「意識」を。

暑さを感じなくても、30℃を超える場合はエアコンや扇風機を使用してください。寝ている間も水分を失うので、就寝前の水分補給も重要。気温の高い日中の作業は避け、朝夕など涼しい時間帯を選ぶなど普段から予防を心がけましょう。

夏でもマスクをつける機会が増える今年の夏。状況に応じてマスクをはずす、エアコンを使いながら定期的な換気をするなど、いつもの熱中症対策にプラスした工夫を。

「新しい生活様式」での熱中症対策

状況によってはマスクをはずして休憩

気温や湿度が高いなかでのマスク着用は要注意。屋外で十分な距離（2m以上）が確保できる場合、運動や作業時などは適宜はずして休憩を。



普段から健康チェックで自分を知る

普段から体温測定や健康チェックをするなど、体調が悪いと感じたら無理せず自宅で療養を。



エアコンを活用しながら換気を

換気扇や窓を開けて換気しつつ、エアコンを活用して部屋の温度調整をこまめにしましょう。



もしも！ 熱中症と思ったら…

意識がある → 涼しい場所で体を冷やし、水分や塩分を補給します。症状によっては病院受診を。

意識がない → 呼びかけても反応がないときは、すぐに救急車を呼んでください。

※特に子供や高齢者は要注意。周りの積極的な声かけをお願いします。詳細はホームページで。

